

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会加入をはじめ、地域行事・奉仕活動参加等は日常的な取り組みとなっている。また、子供会・中学校・地元JAとの交流、地域ボランティアの来訪等、利用者の楽しみにつながる取り組みも多い。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1回の会議を開催し、制度の目的通りの運用がある。ホームの活動報告から様々な議論・検討が行われ、ホームの運営には非常に有意義な会議となっている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市担当者との協力関係は良好であり、運営推進会議参加をはじめ、日常的な相談・報告等でも適切な助言・指導を受け、ホーム運営に反映させている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	月に一度の利用料支払時を活用し、原則的には家族との面談に当てている。今回家族アンケートの回答でも、ホームの対応に対する満足度は高く、家族意見の聴き取り・反映に対する問題は何ら感じられない。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

どの項目に対しても、基準以上の取り組みが認められ、軽減要件に関する問題は感じられない。この熱心な取り組みが、家族にもよく理解され、今回家族アンケートに於いても高い評価を得ている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。